

胸部 2回目

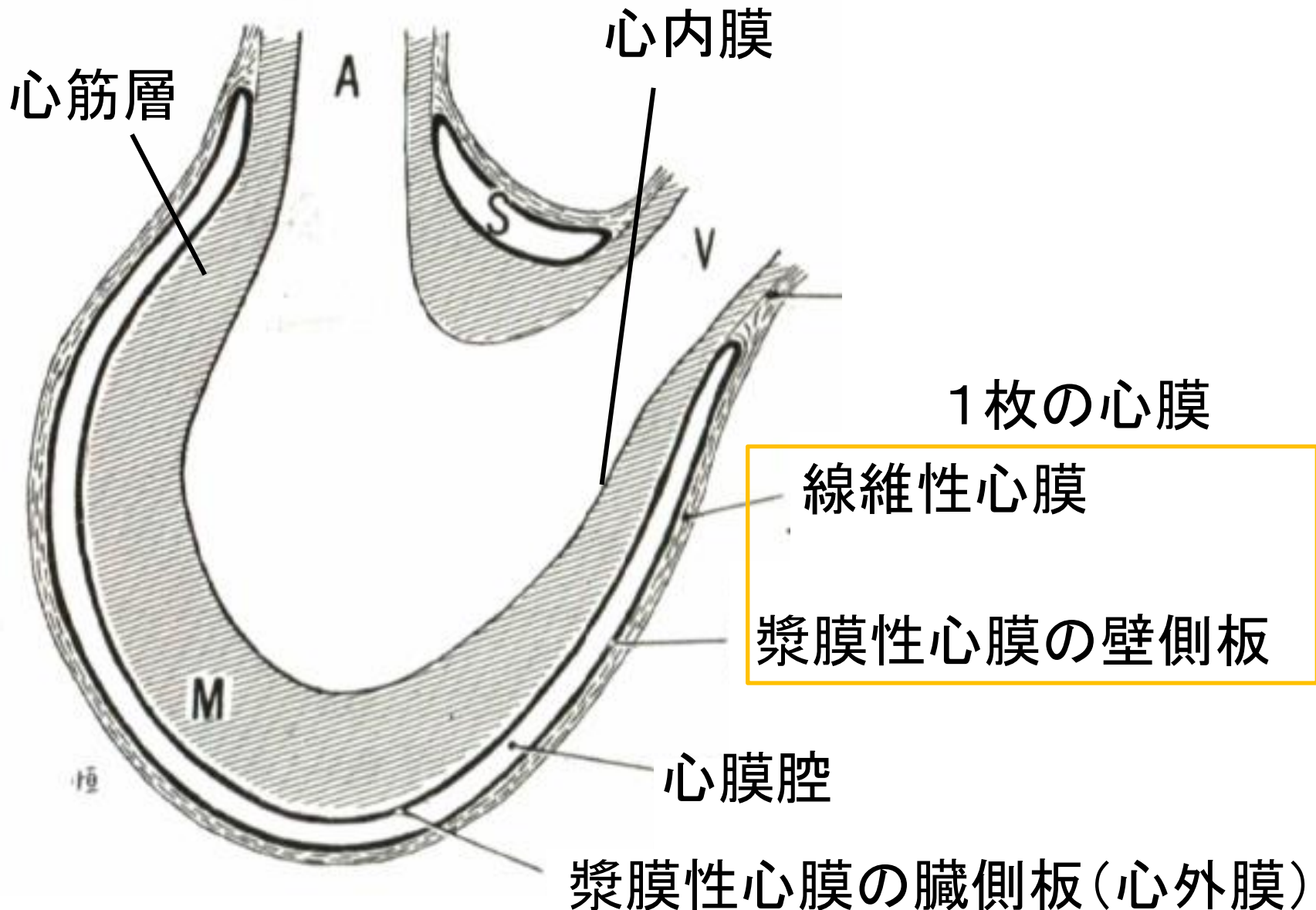
今回主に行うこと

- ・縦隔の観察
- ・心臓の観察

配布された肉眼解剖学実習手引書(胸部・腹部)を持参すること。
手順は実習手引書に従っています。
スライドに示してるページは実習手引書に対応しています。

心膜腔の構造を確認

手引きP.9



心臓の取り出し

血管を心膜内で折り返しに近いところで切る。

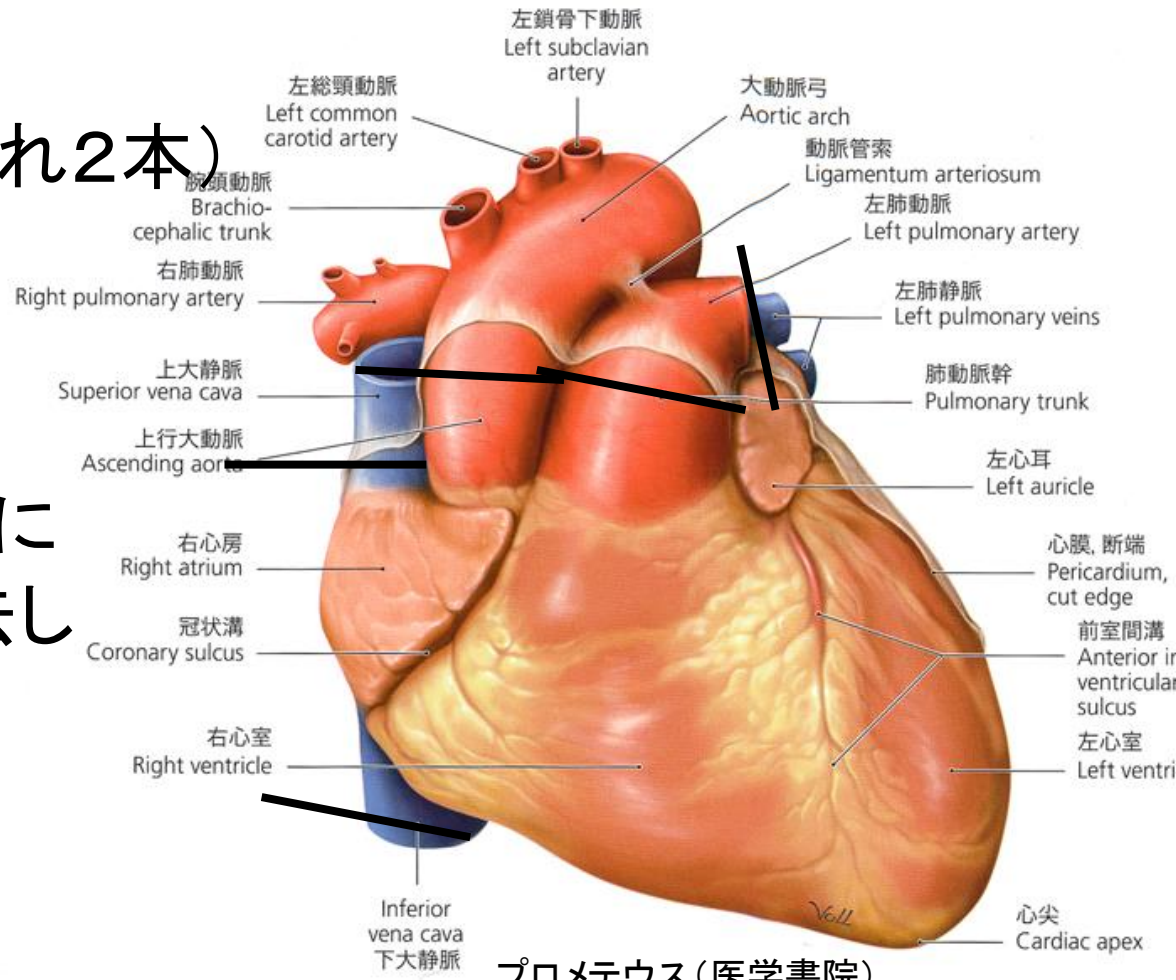
a) 肺動脈と大動脈(肺動脈は左右に分かれる直前で切る)

b) 下大静脈

c) 肺静脈(左右それぞれ2本)

d) 上大静脈

* 脂肪で血管がわかりにくい場合は、脂肪を除去してから血管を切る。

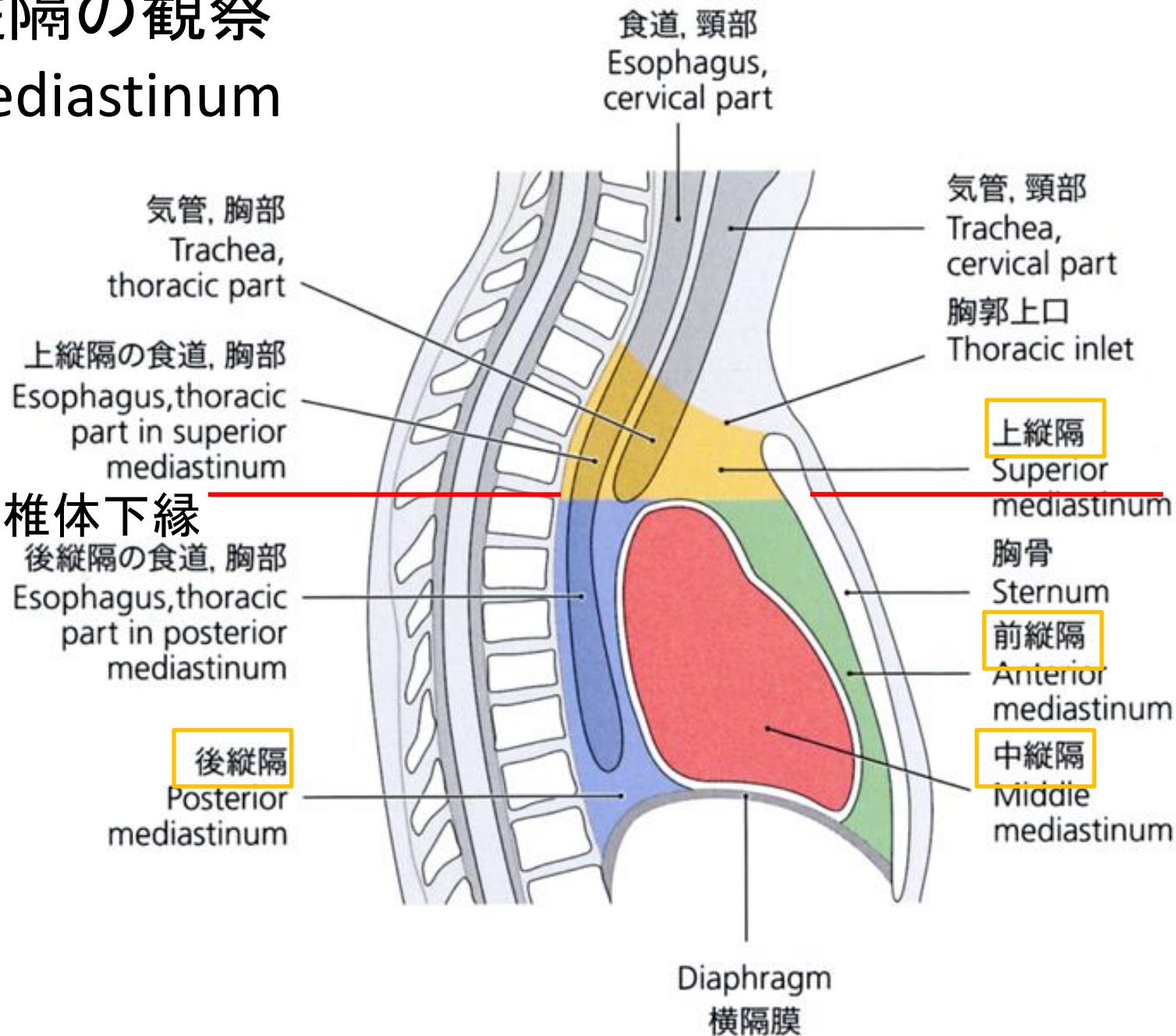


縦隔の観察 mediastinum

第4胸椎体下縁

胸骨角

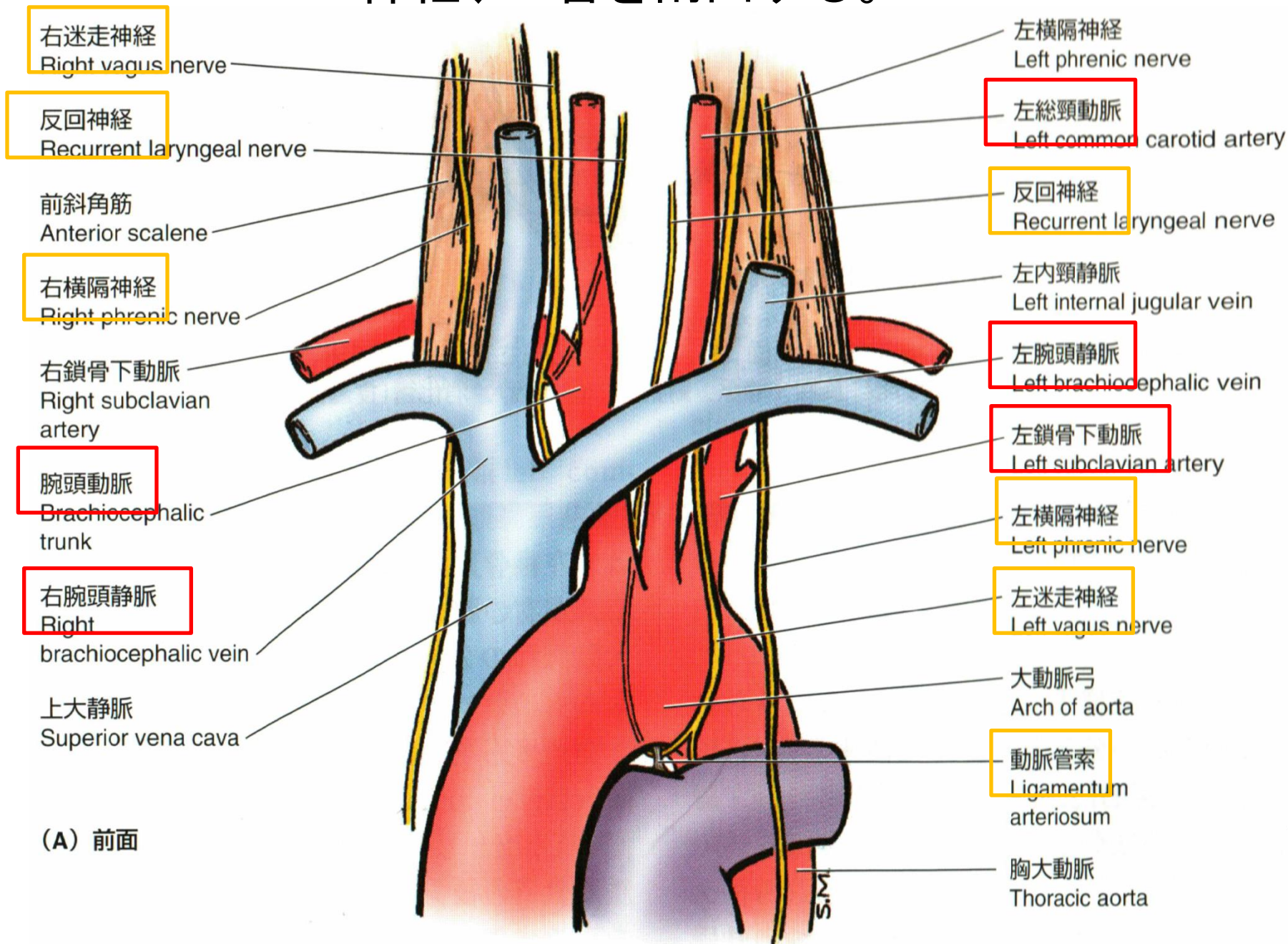
下縦隔



縦隔の観察

- 心膜を除去する。
- 肺動脈・肺静脈を除去する。
- 後壁の壁側胸膜を剥がす。

神経、血管を剖出する。



頸胸神経節 (星状神経節)

鎖骨下動脈

奇静脈

交感神経幹

胸神経節

左迷走神経 → 食道前面へ
右迷走神経 → 食道後面へ

腕頭静脈

大動脈弓

気管

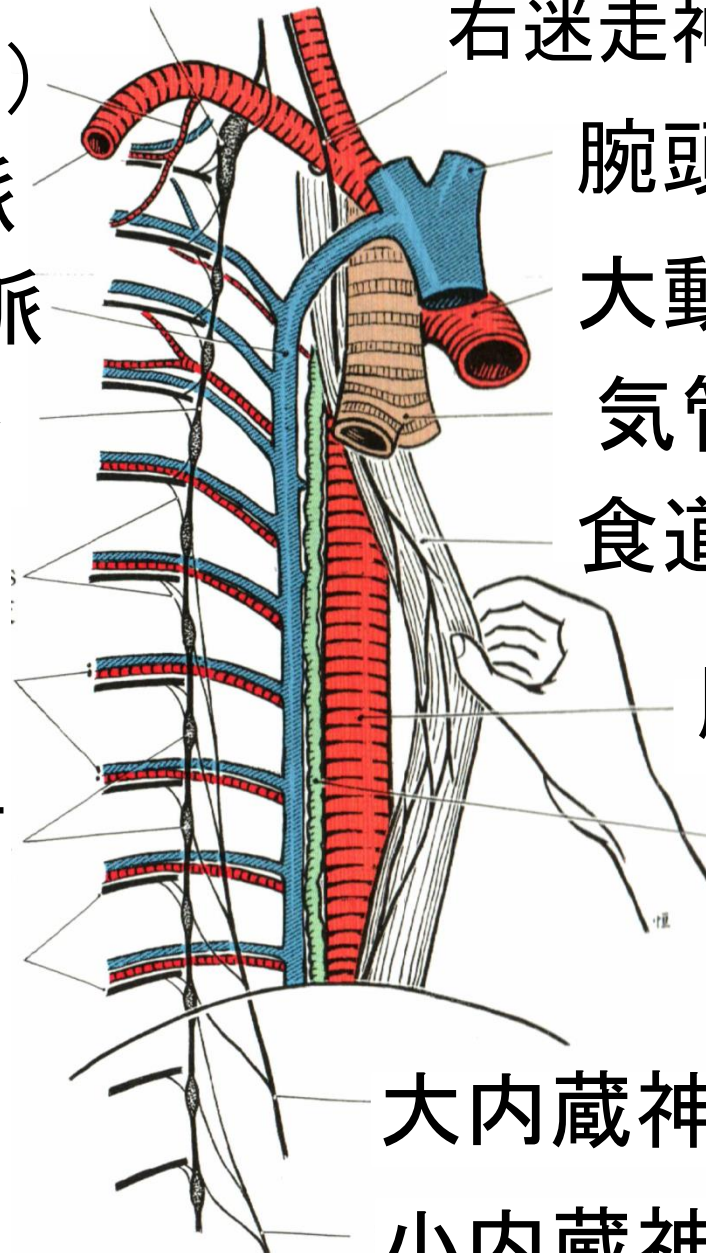
食道

胸大動脈

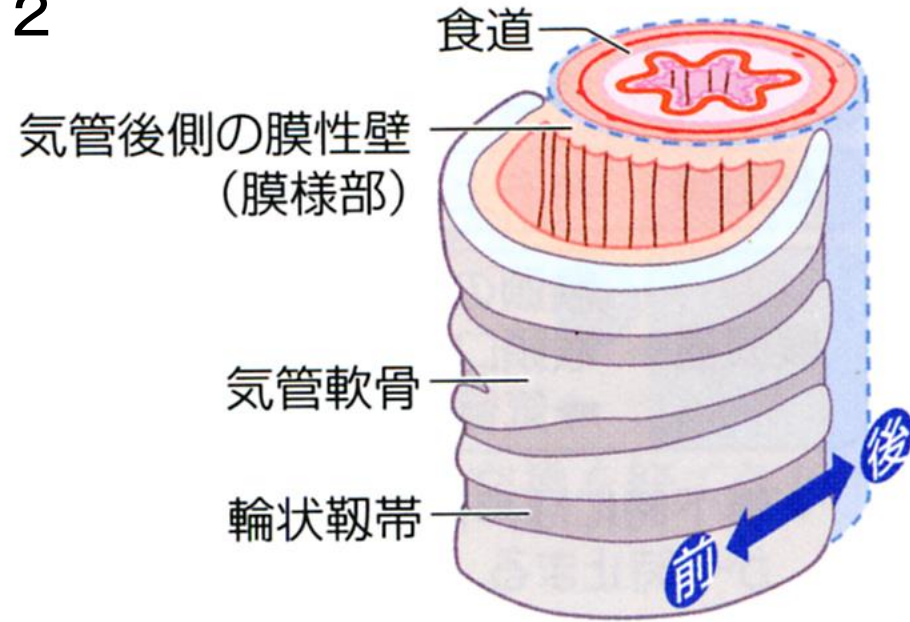
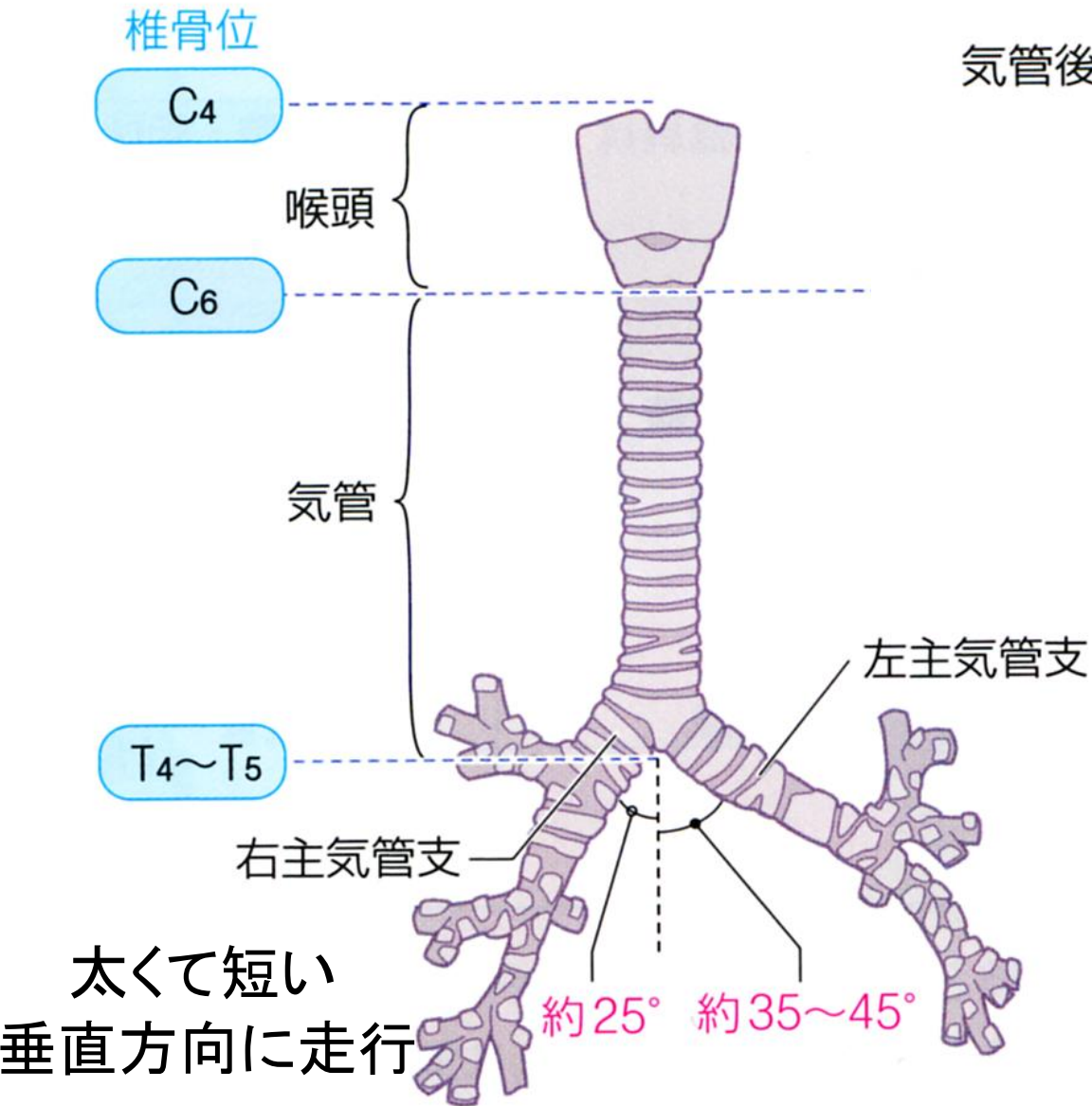
胸管

大内蔵神経

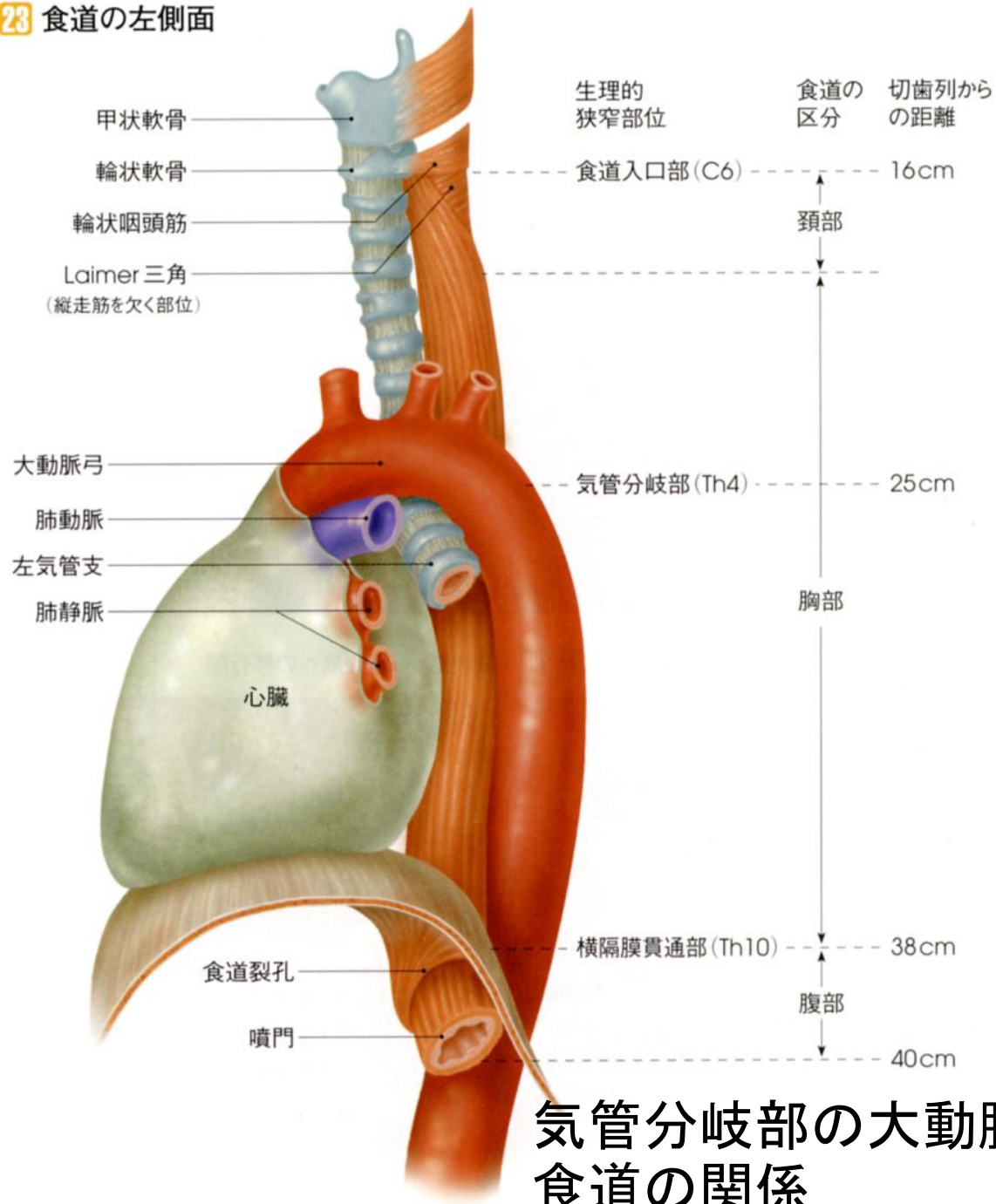
小内蔵神経



気管 Trachea 手引きP. 12



23 食道の左側面



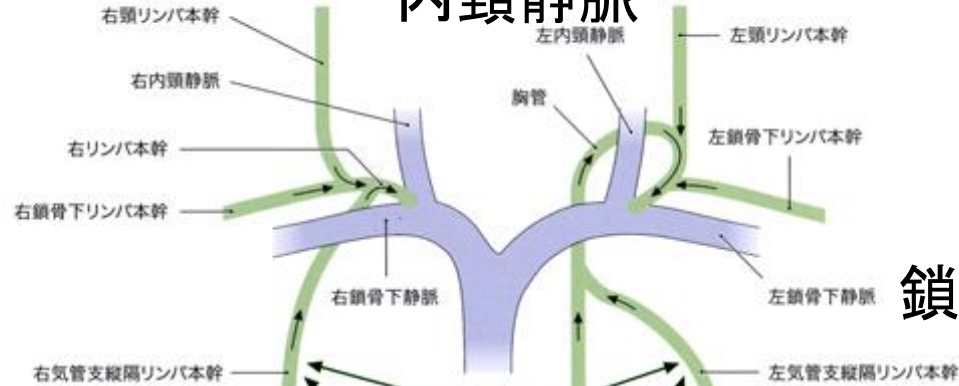
気管分岐部の大動脈弓と左気管支、
食道の関係

胸管 (リンパ管)

右

左

内頸静脈



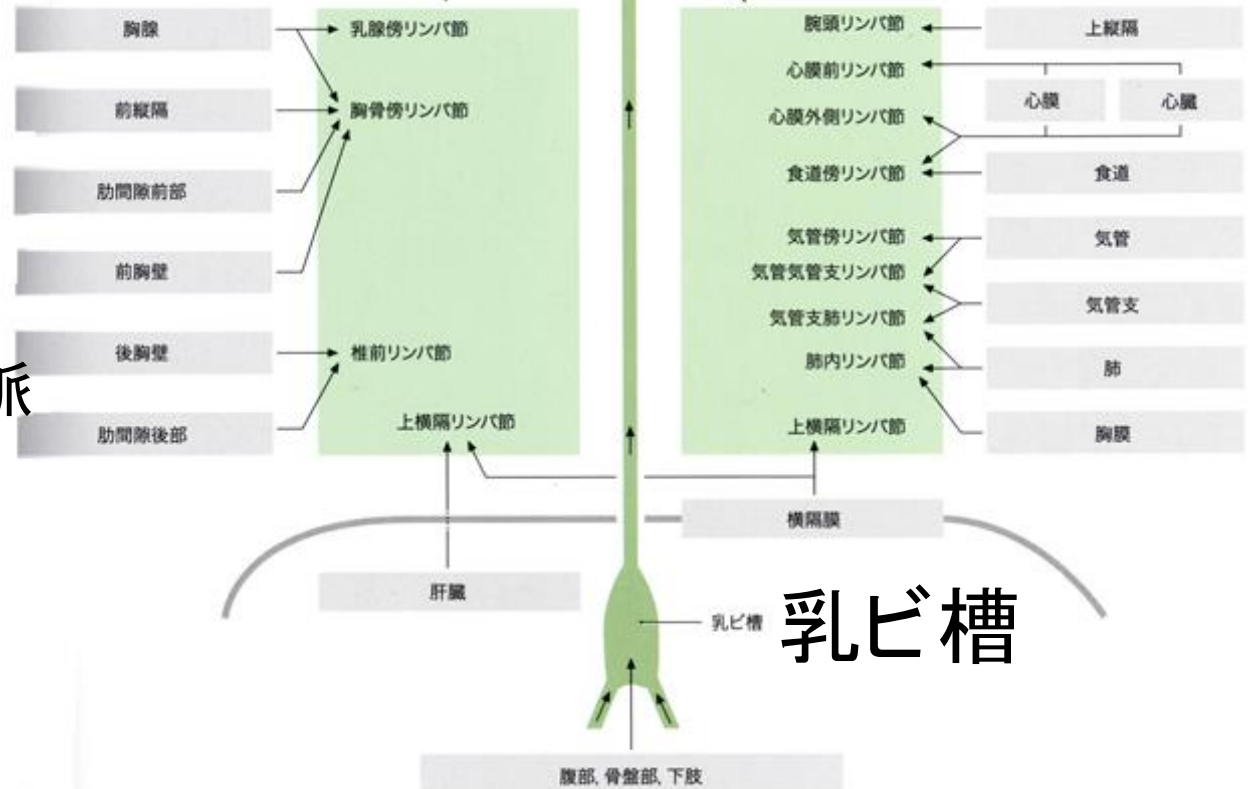
鎖骨下静脈

内頸静脈

静脈角

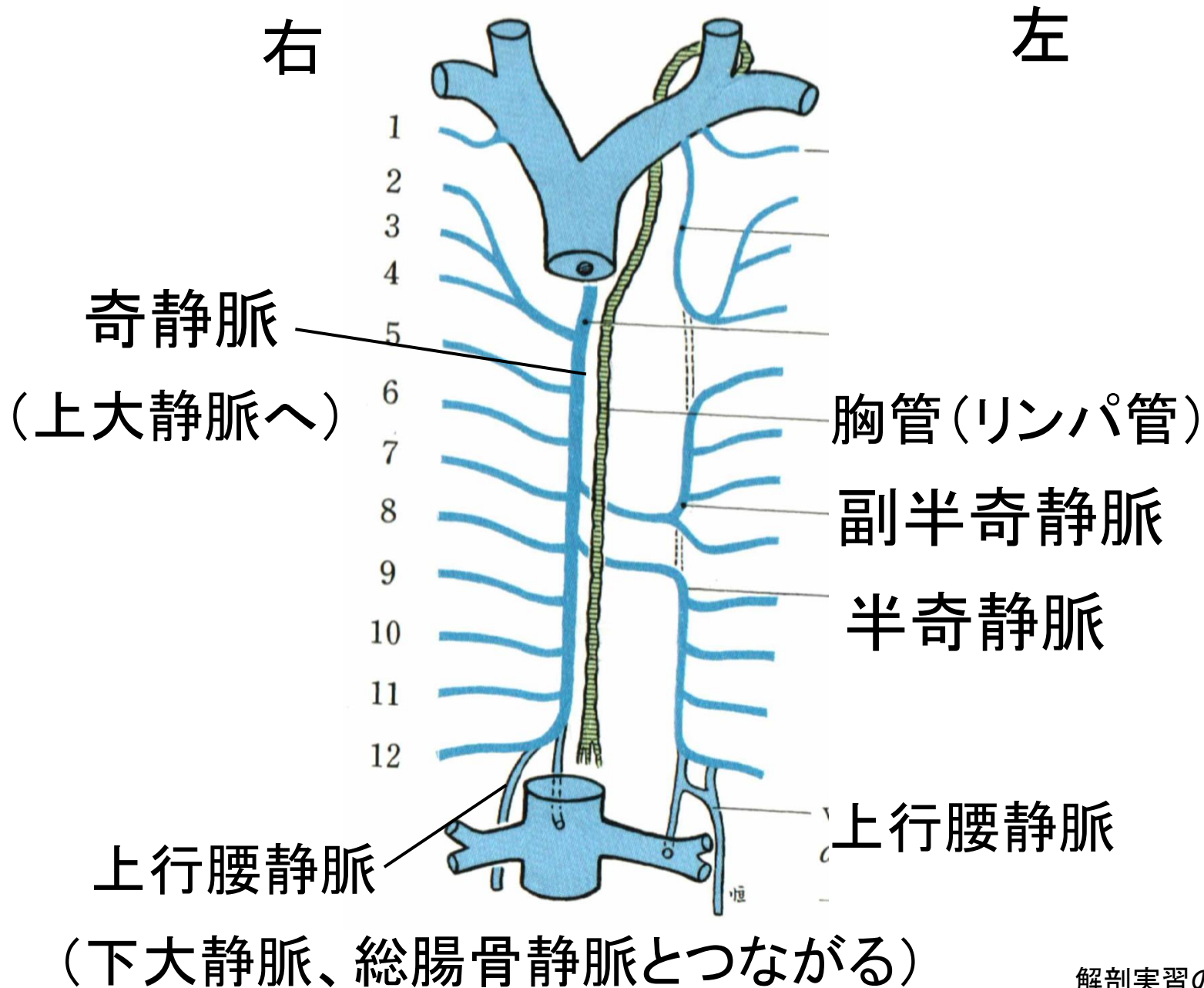
鎖骨下静脈

腕頭静脈



乳ビ槽

奇静脈系 (胸・腹壁、気管支、食道、心膜、横隔膜のからの血液を集める)



頸胸神経節
(星状神経節)

鎖骨下動脈
奇静脈

交感神経幹

胸神経節

左迷走神経 → 食道前面へ
右迷走神経 → 食道後面へ

腕頭静脈

大動脈弓

気管

食道

胸大動脈

胸管

大内蔵神経

小内蔵神経

心臓の解剖

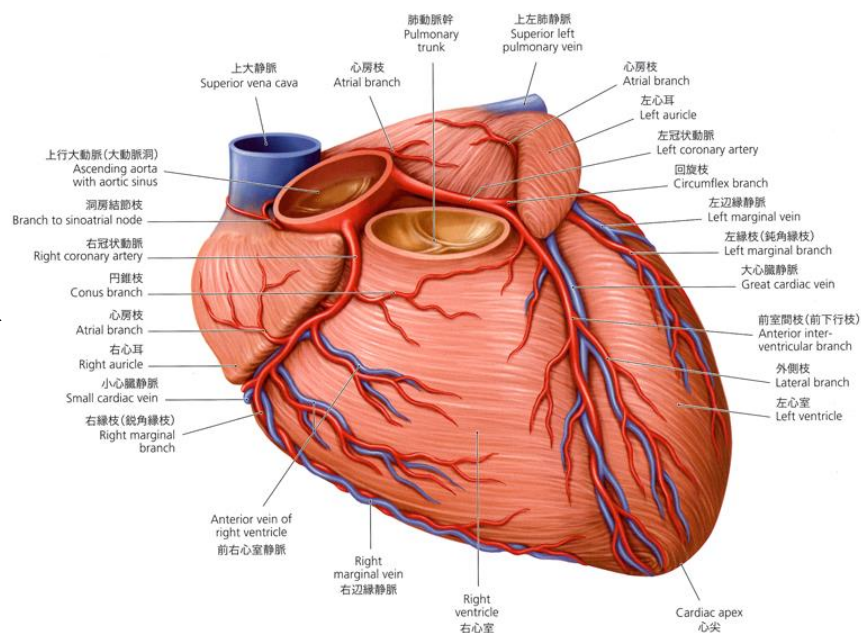
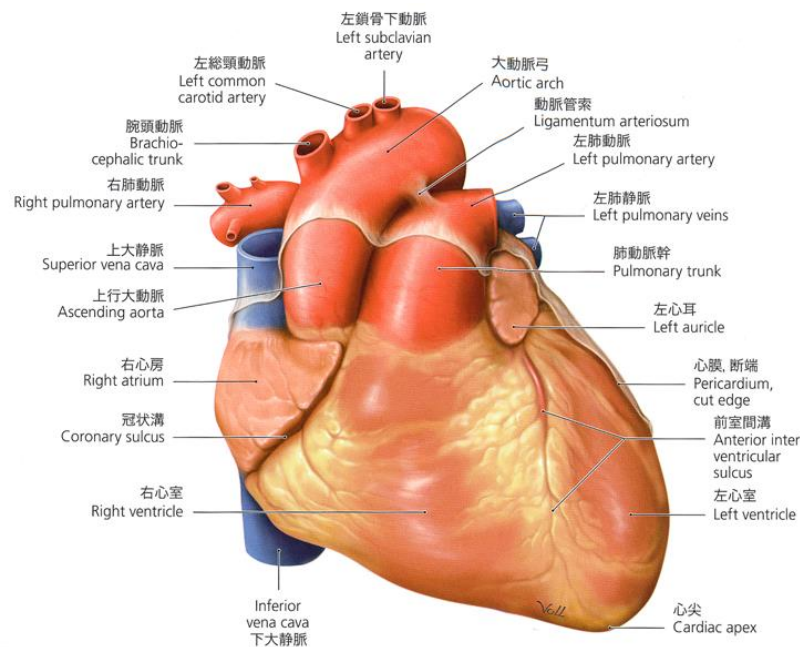
手引きP. 15

大血管に詰まっている血液の塊をピンセットでとる。

必要があれば水道で洗う。(血液の塊は下水へ流さない。)

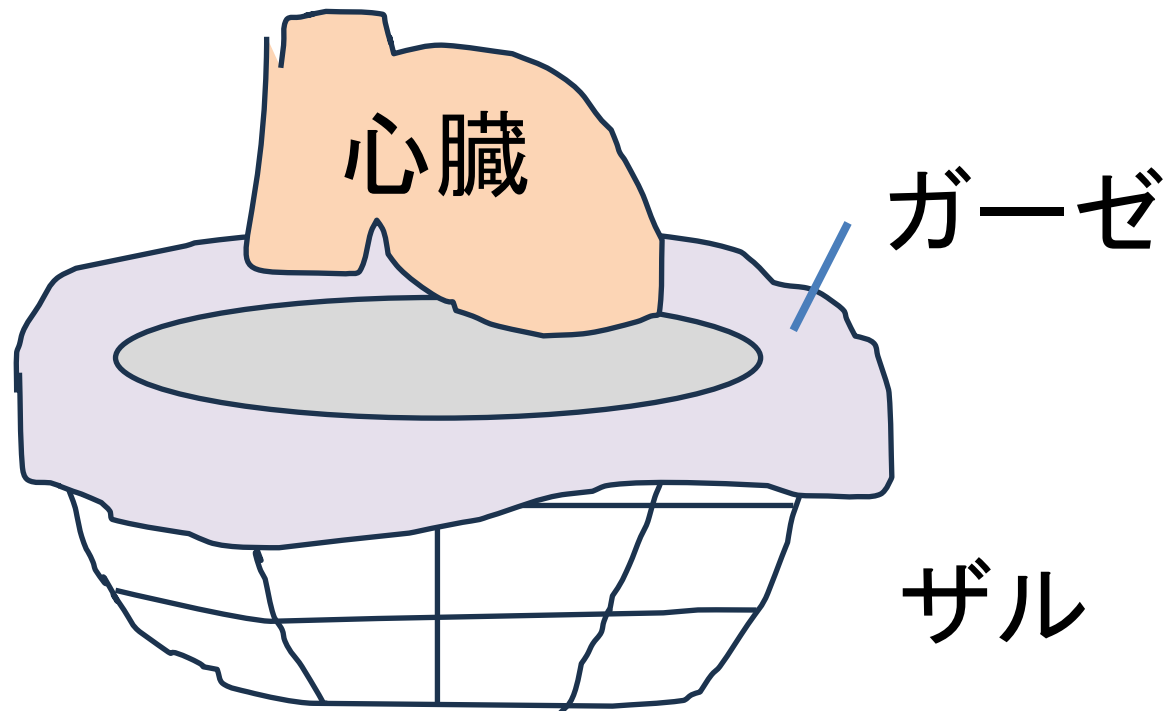
心外膜、脂肪を取りながら、血管をだす。

- ・冠状静脈洞 ・大心臓静脈 ・中心臓静脈 ・小心臓静脈
- ・右冠状静脈→後室間枝 ・左冠状静脈→回旋枝・前室間枝



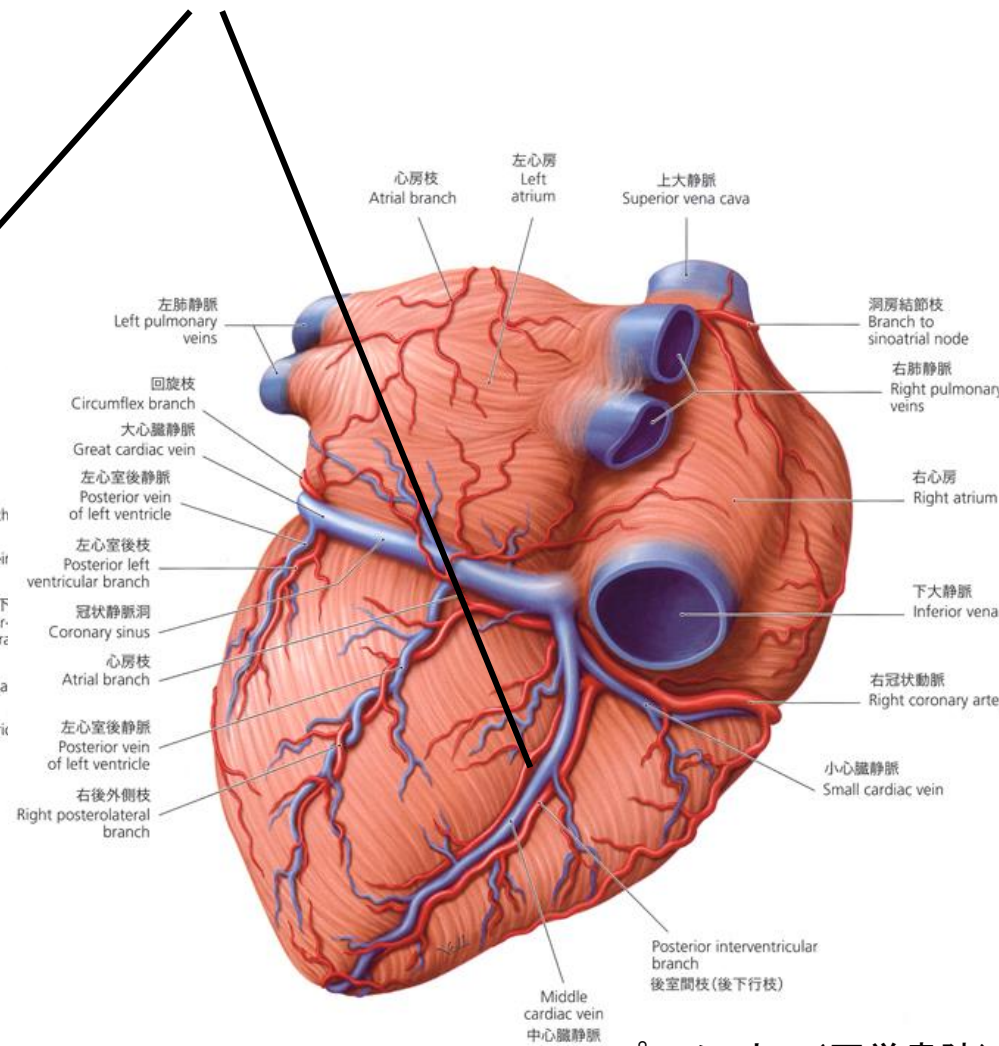
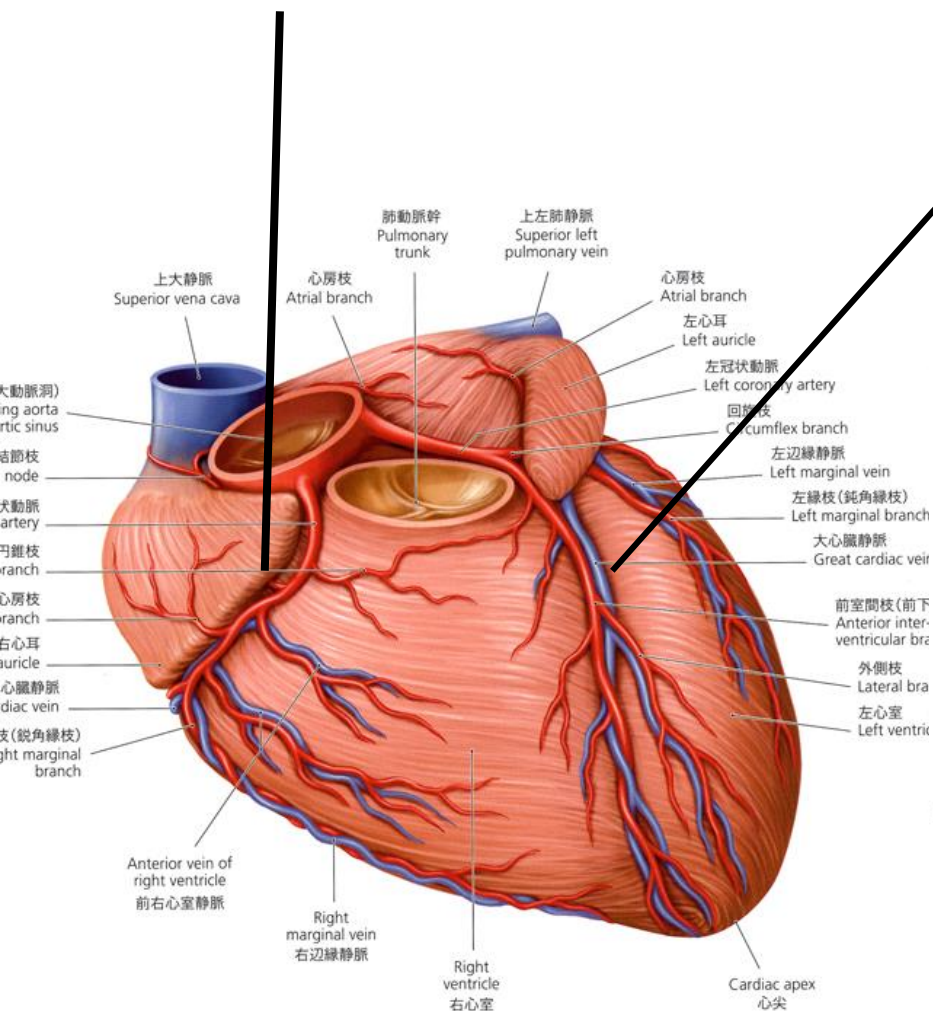
心臓は必ずザルの上で洗うこと

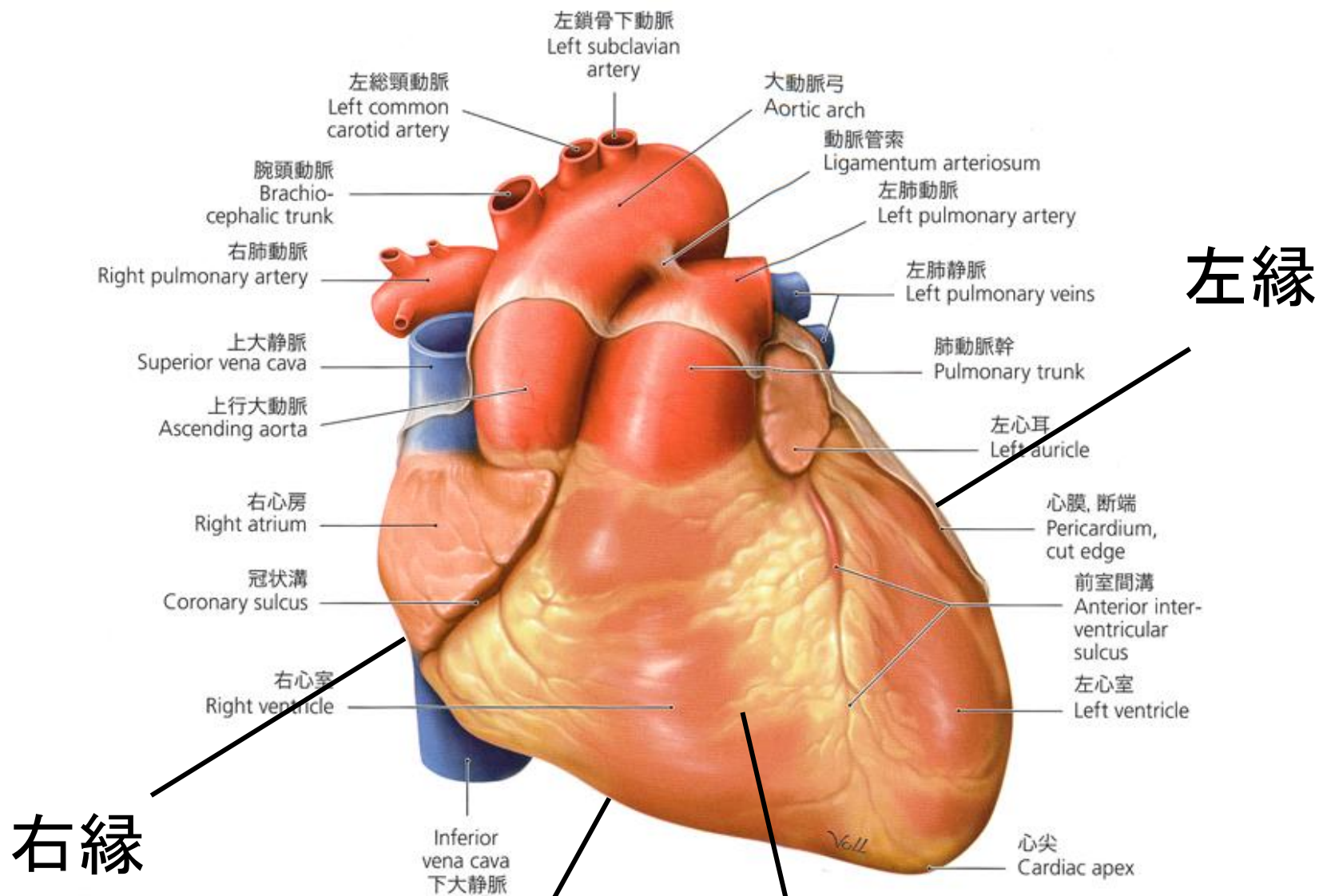
- ・ガーゼの血液と組織はガーゼに包んだまま各班の青いポリバケツへ。
- ・ザルに組織が残ったら全て取り除いて、その組織は各班の青いポリバケツに入れる。
- ・ザルを洗って、拭いてから棚に戻す。



冠状溝(心房と心室の境)

前・後室間溝(左右の心室の境)



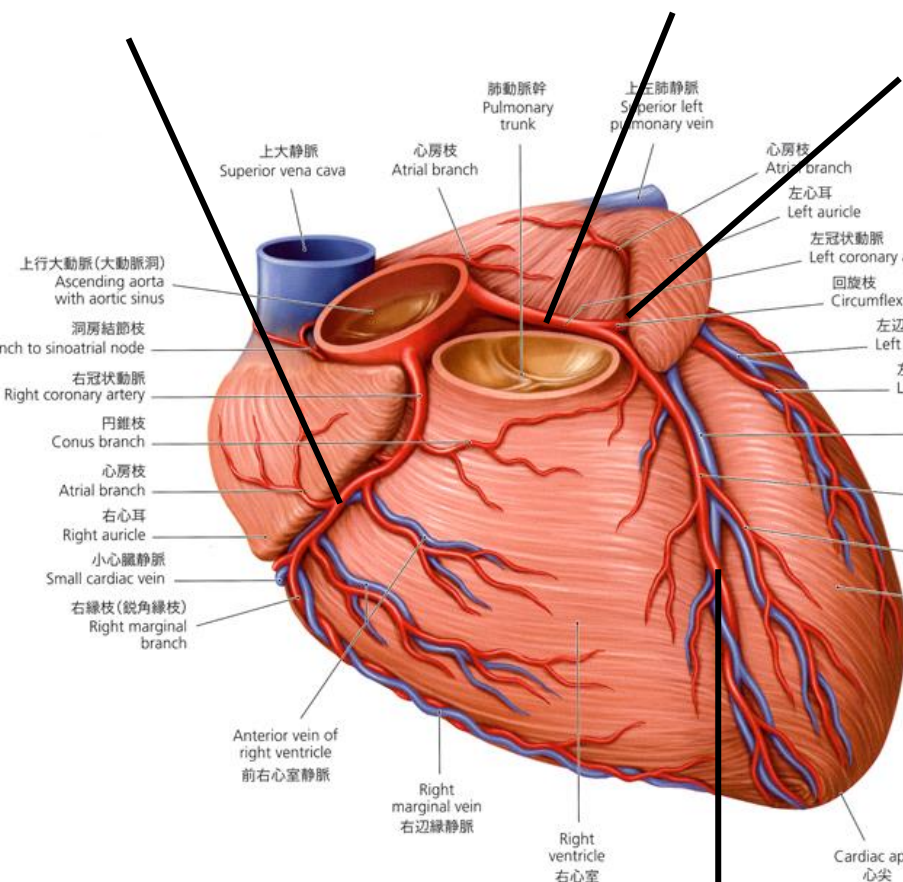


血管の観察

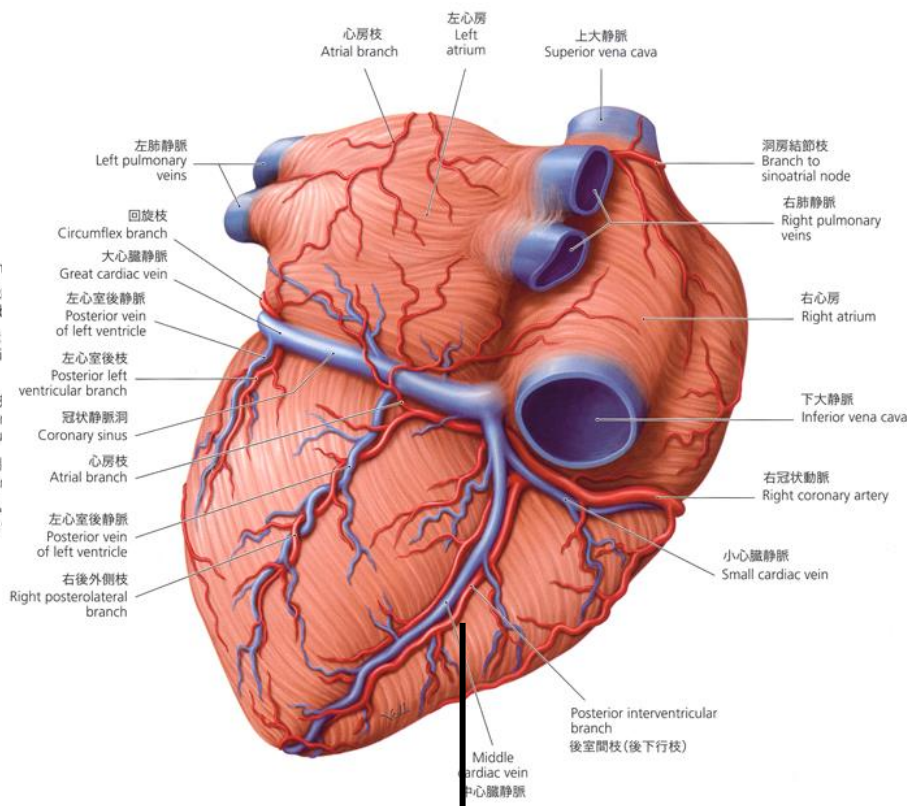
冠(状)動脈・・・心臓の栄養血管であり、終動脈である。

右冠状動脈 左冠状動脈

回旋枝



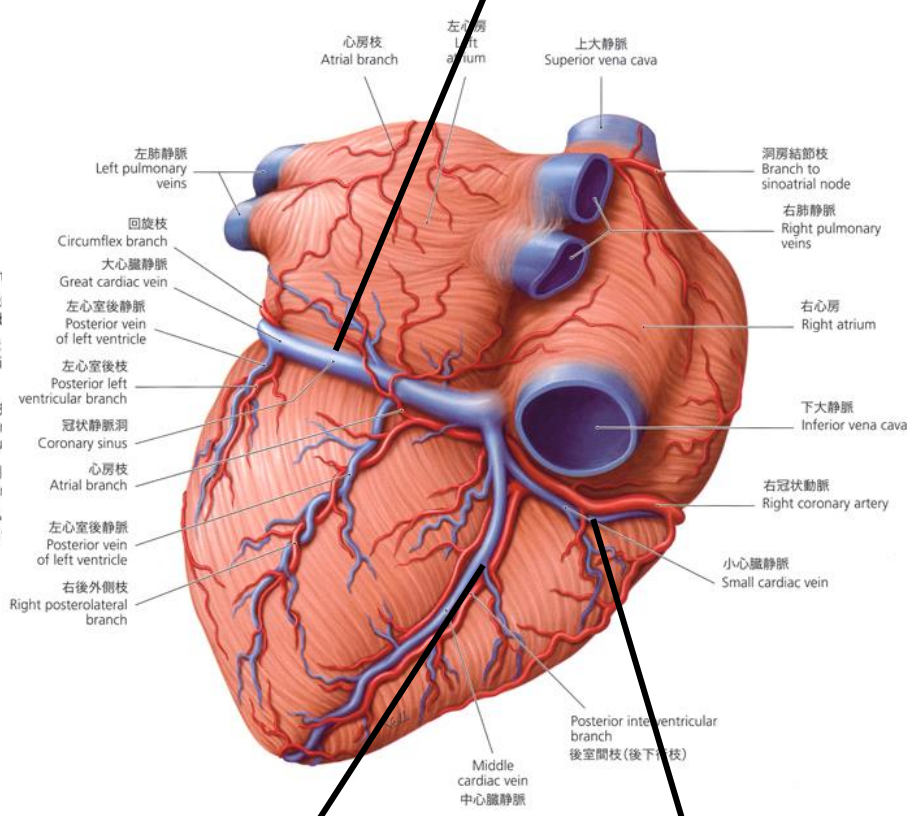
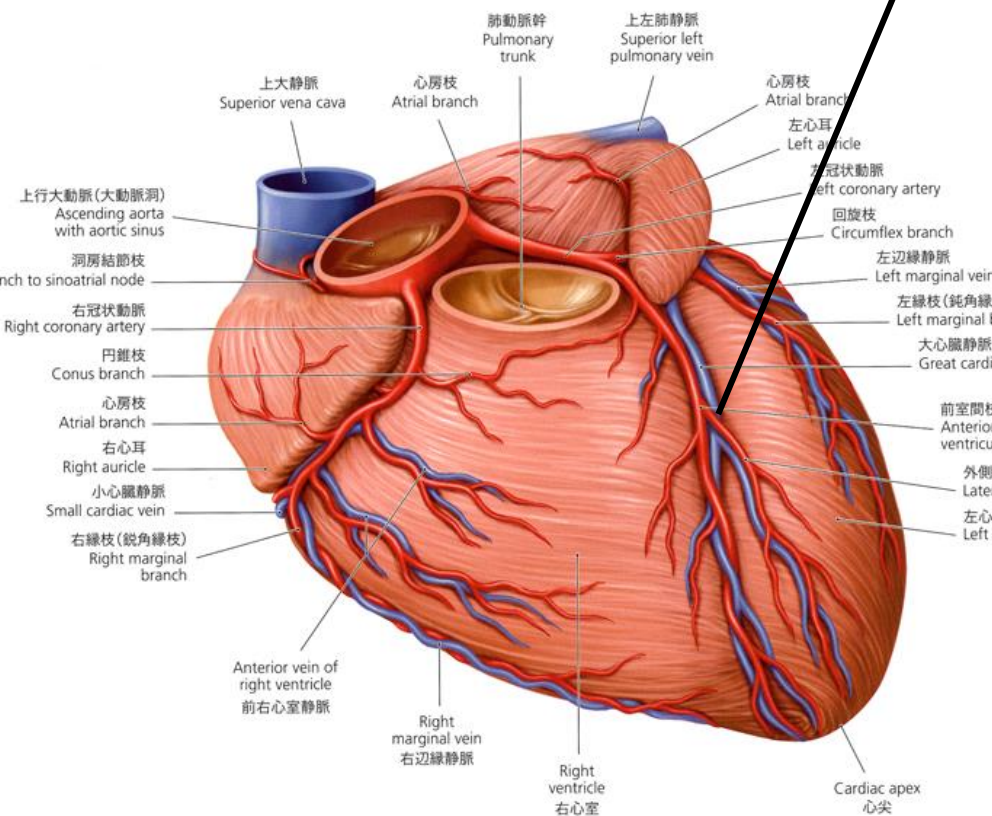
前室間枝



後室間枝

大心臓静脈

冠状静脈洞



中心臓静脈

小心臓静脈

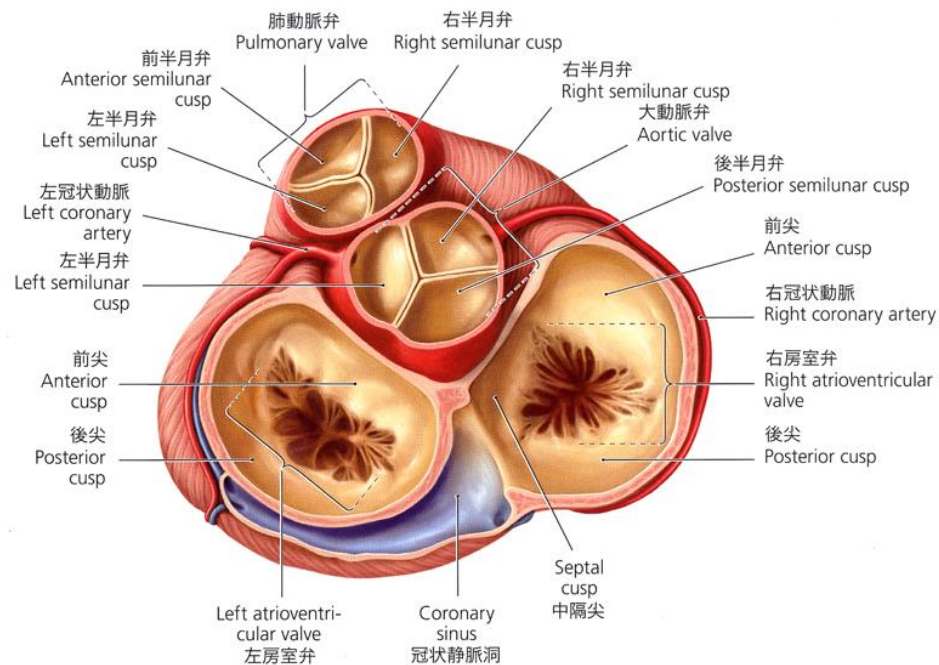
心臓内部の観察 (教員のチェックを受けてから) 手引きP.17

心房と心室を分離する(奇数班)

心房と静脈



心室と動脈



肺動脈弁

Pulmonary valve

左冠状動脈

Left coronary artery

大動脈弁

Aortic valve

左線維三角

LEFT FIBROUS TRIGONE

右線維三角

RIGHT FIBROUS TRIGONE

二尖弁

Bicuspid valve

左線維輪

LEFT ATRIOVENTRICULAR
FIBROUS RING

肺動脈線維輪

PULMONARY FIBROUS RING

動脈円錐靱帯

CONUS TENDON

大動脈線維輪

AORTIC FIBROUS RING

右冠状動脈

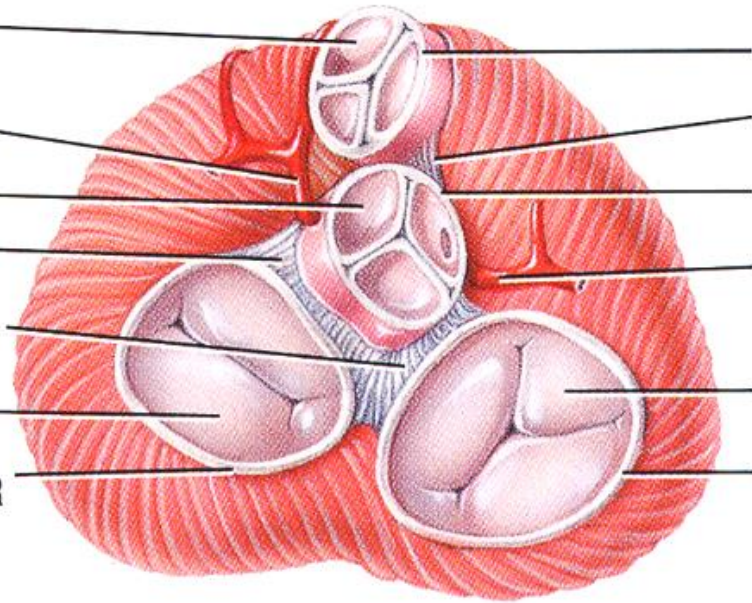
Right coronary artery

三尖弁

Tricuspid valve

右線維輪

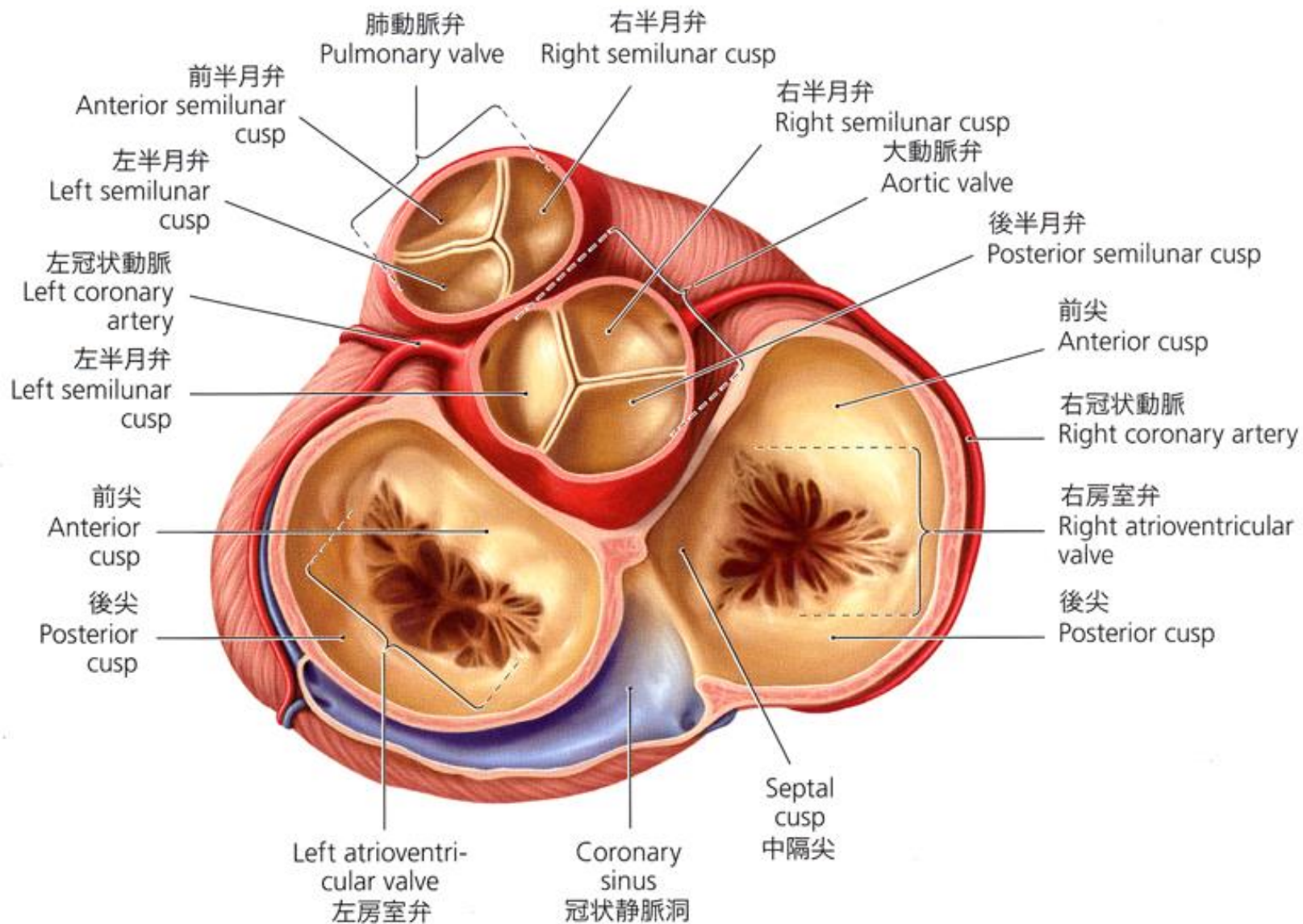
RIGHT ATRIOVENTRICULAR
FIBROUS RING

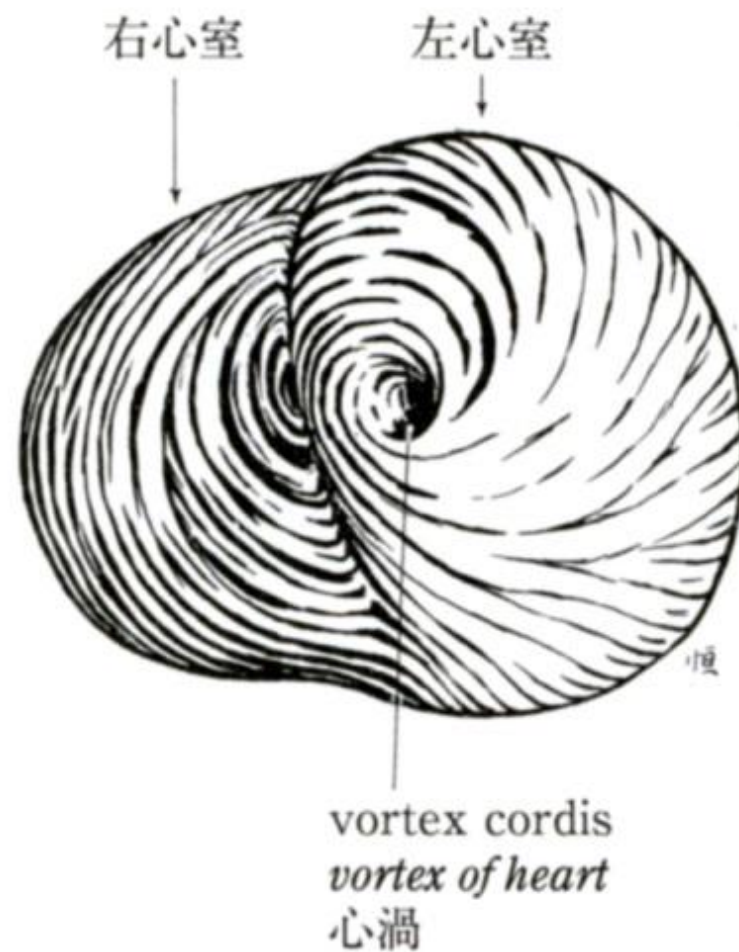


心臓の線維性骨格 手引きP.21

- 弁口が過度に広がるのを防止
- 心筋の起始、停止
- 弁の付着部
- 絶縁体(心房と心室の間を絶縁)

内部観察

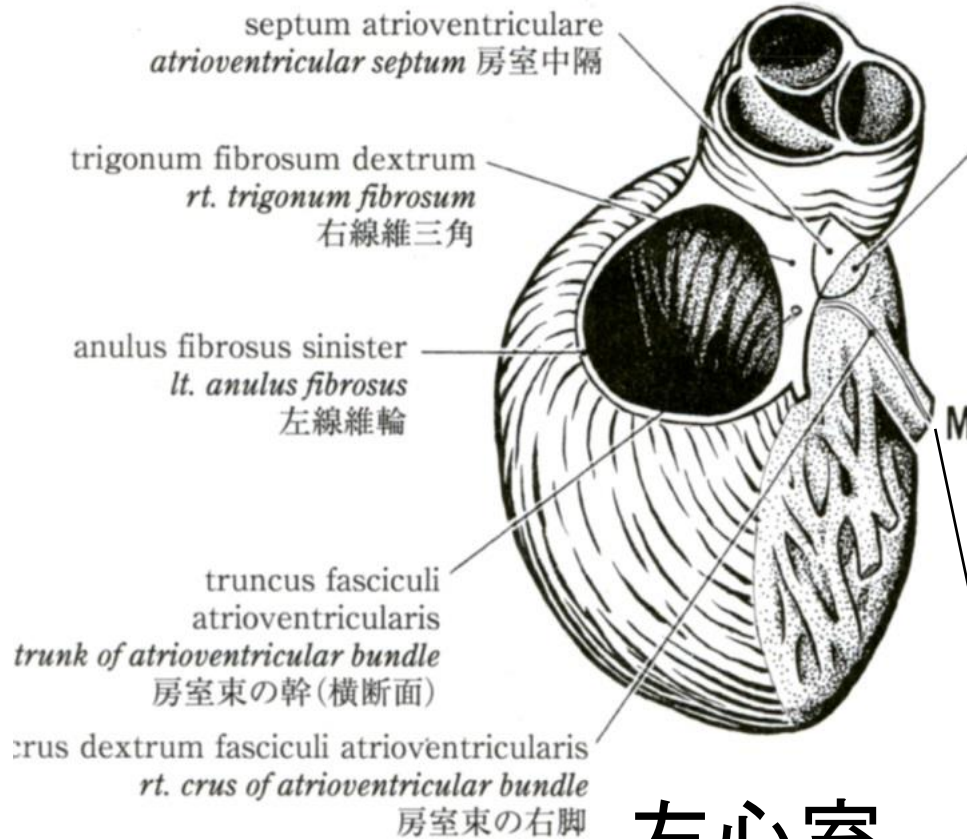




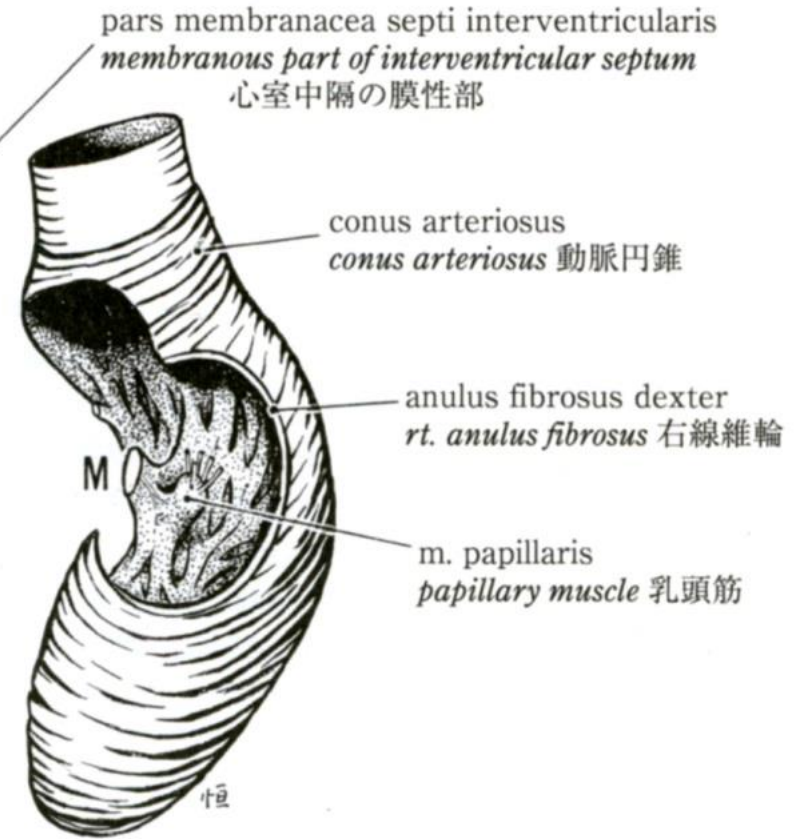
99. 心室の筋層の解剖を下から
見たところ

大動脈

肺動脈



左心室

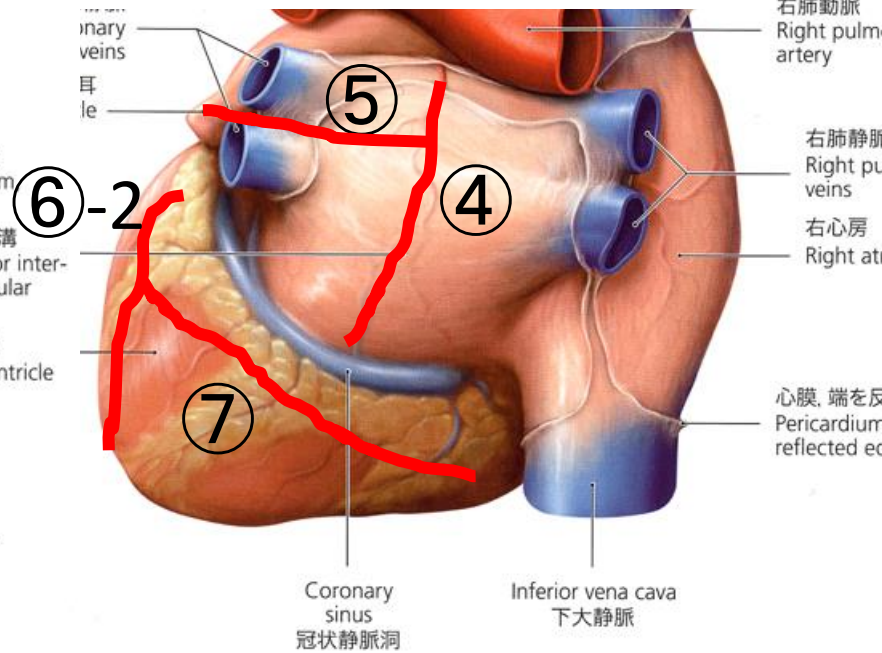
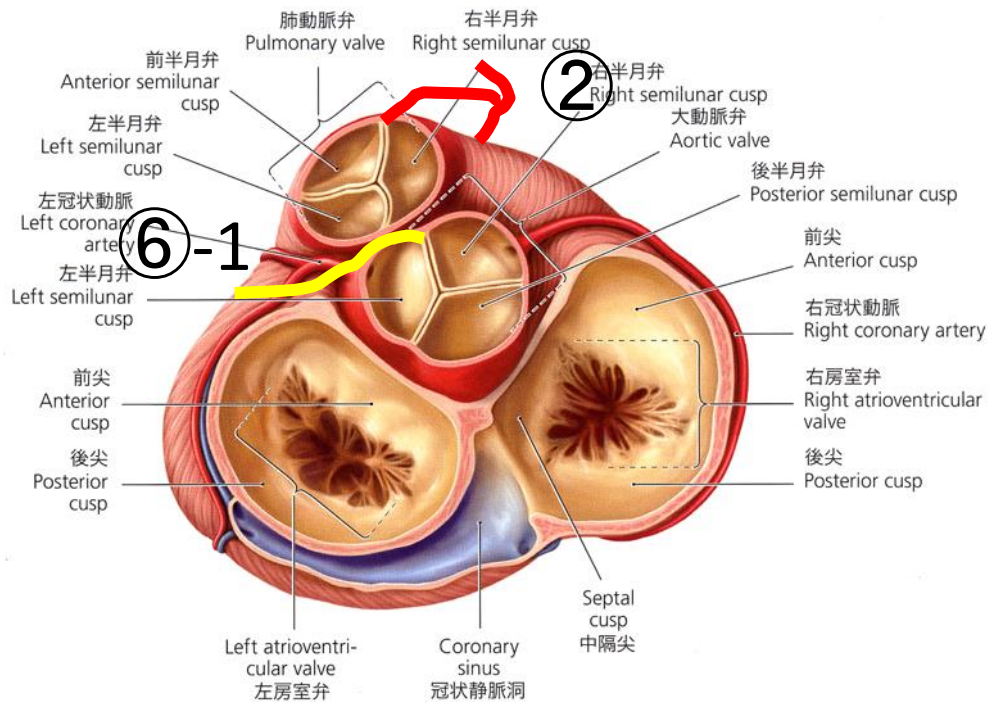


右心室

中隔縁柱

右心室にある心室中隔から前乳頭筋の基部にかけて横断する

(教員のチェックを受けてから)
心臓を切開する(偶数班)



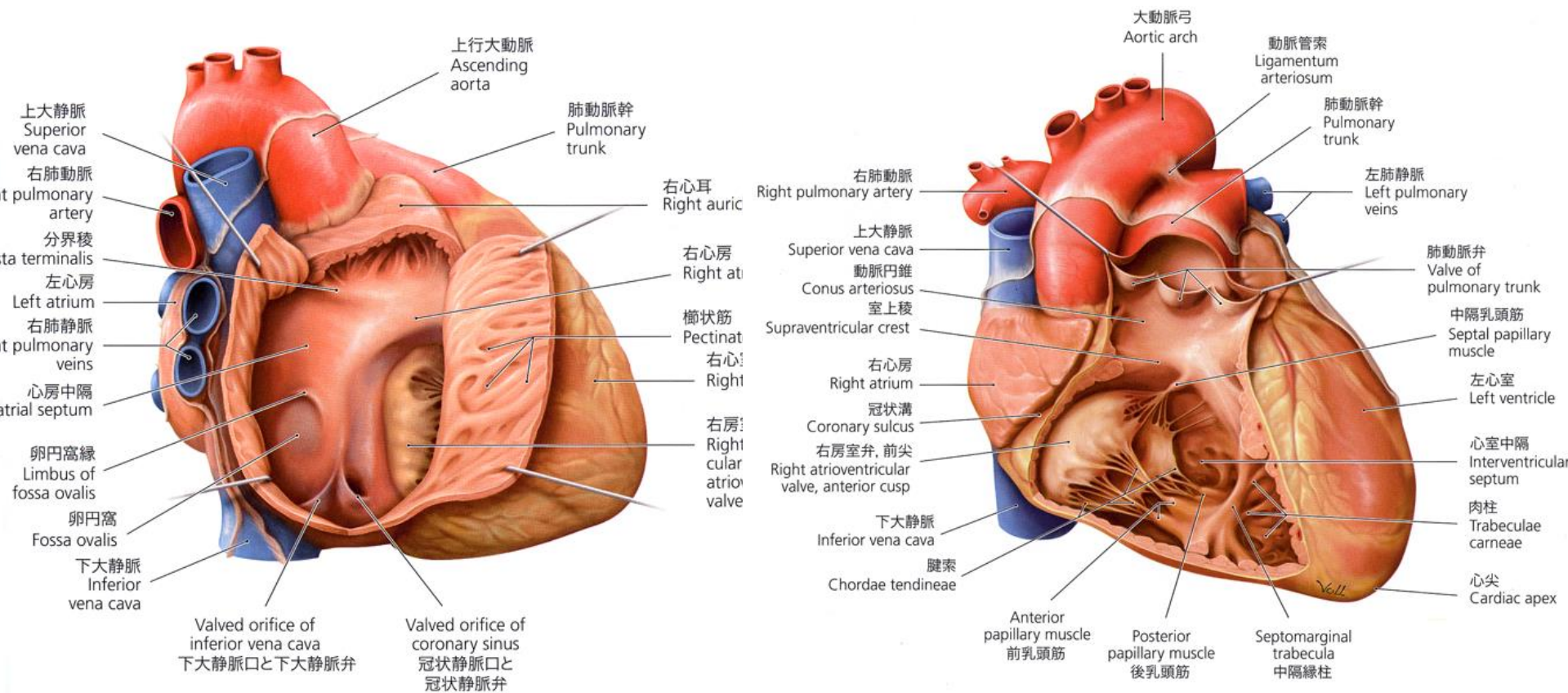
① → 右心房を開く方法

②③ → 右心室を開く方法

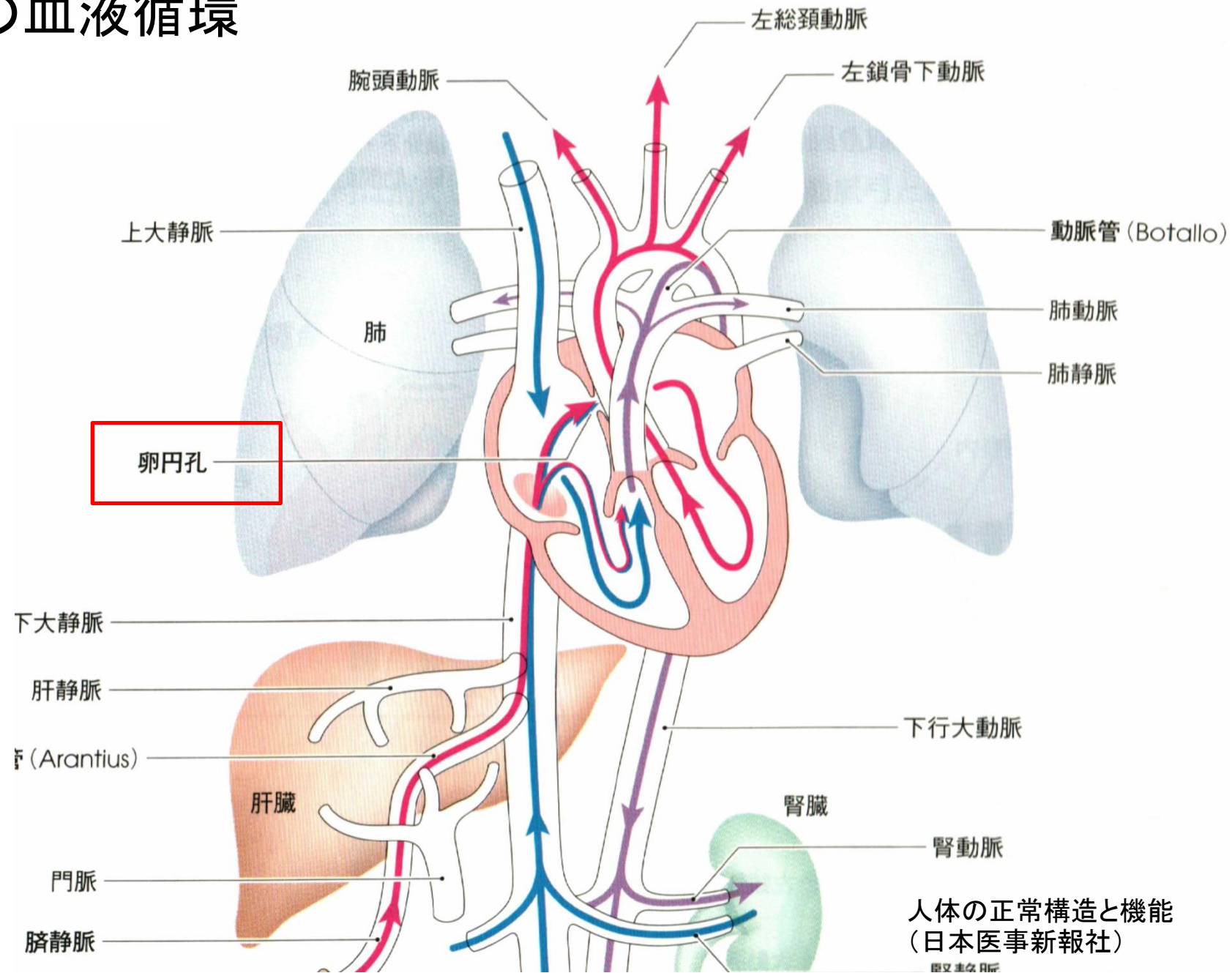
④⑤ → 左心房を開く方法

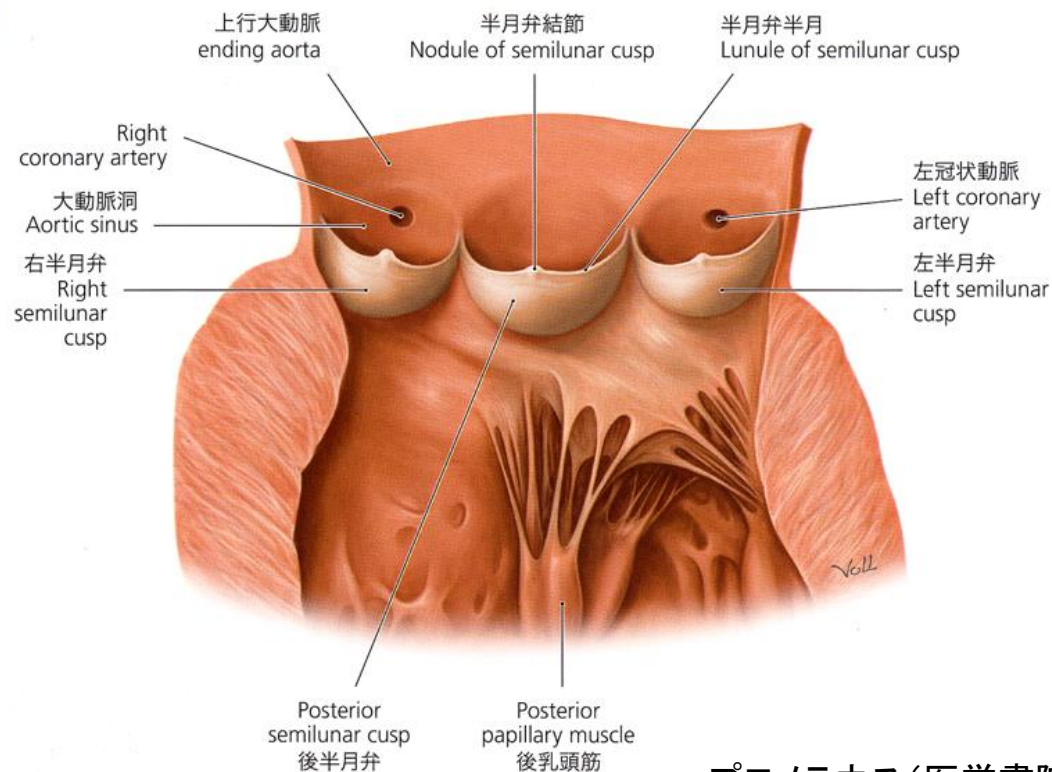
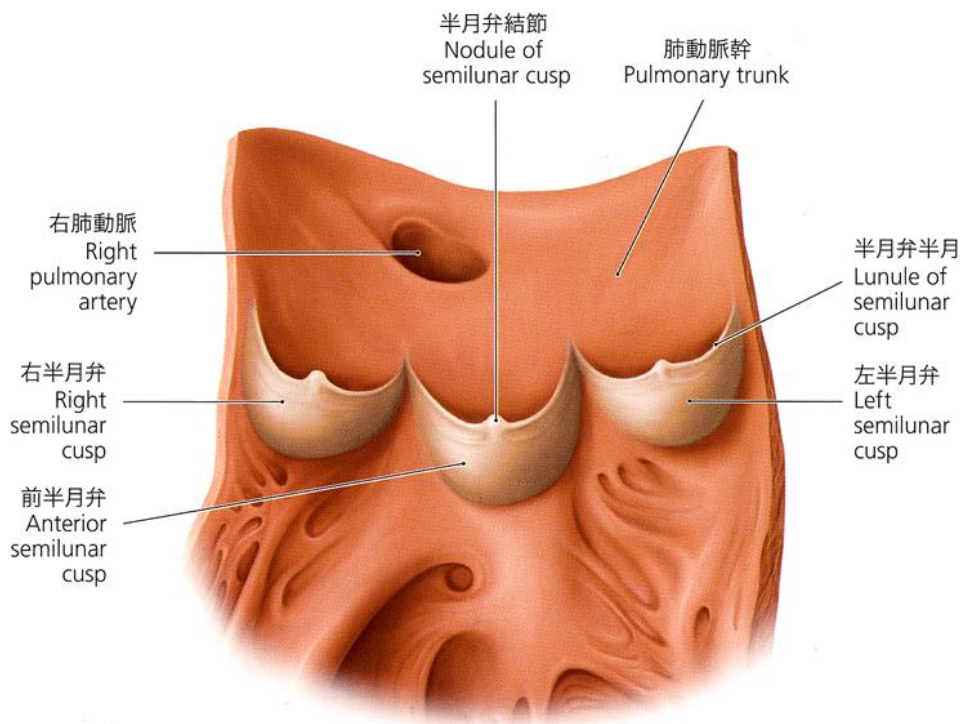
⑥⑦ → 左心室を開く方法

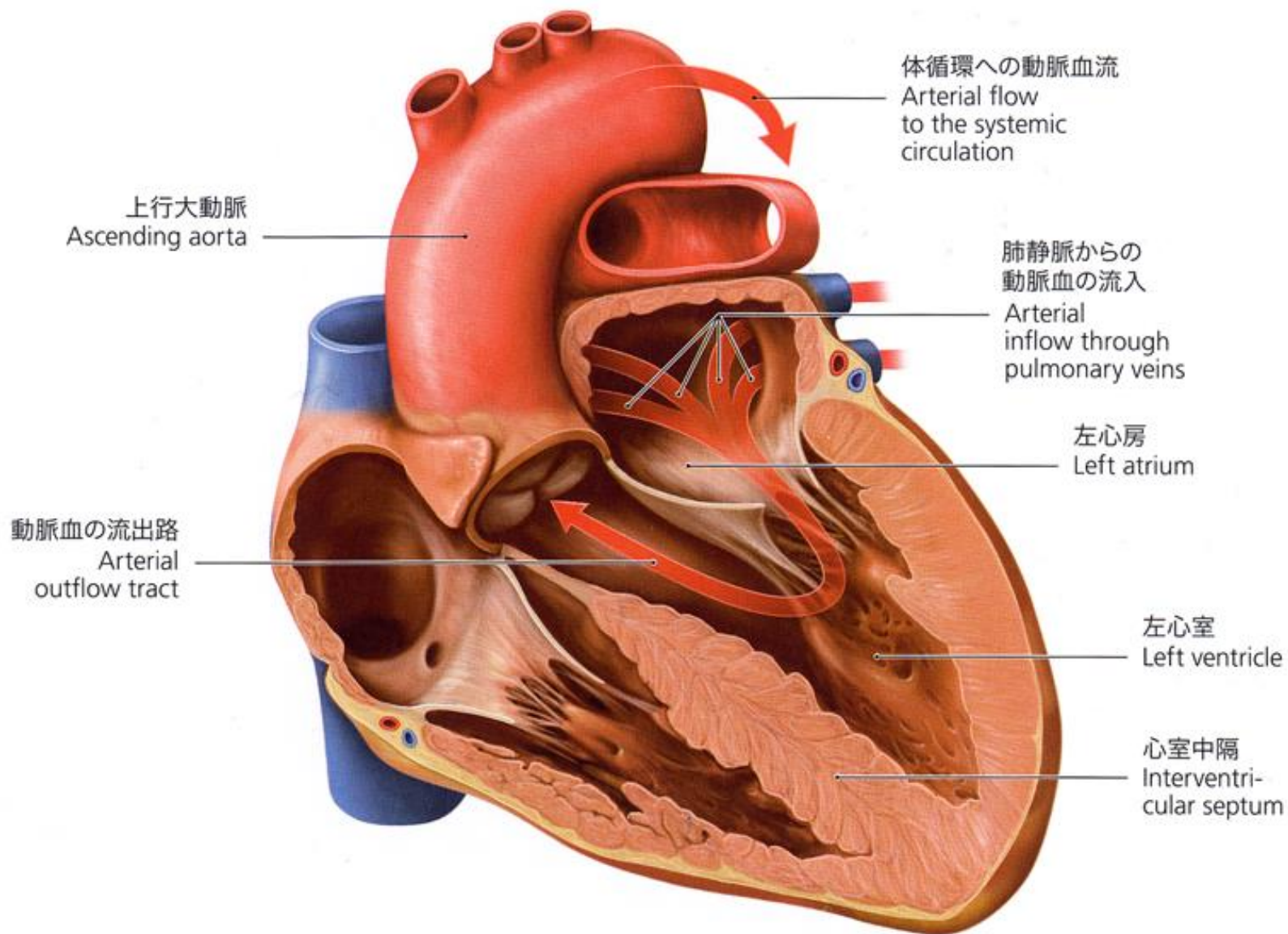
解剖した心臓で確認する内部構造は手引きP. 19～(奇数班、偶数班共に)



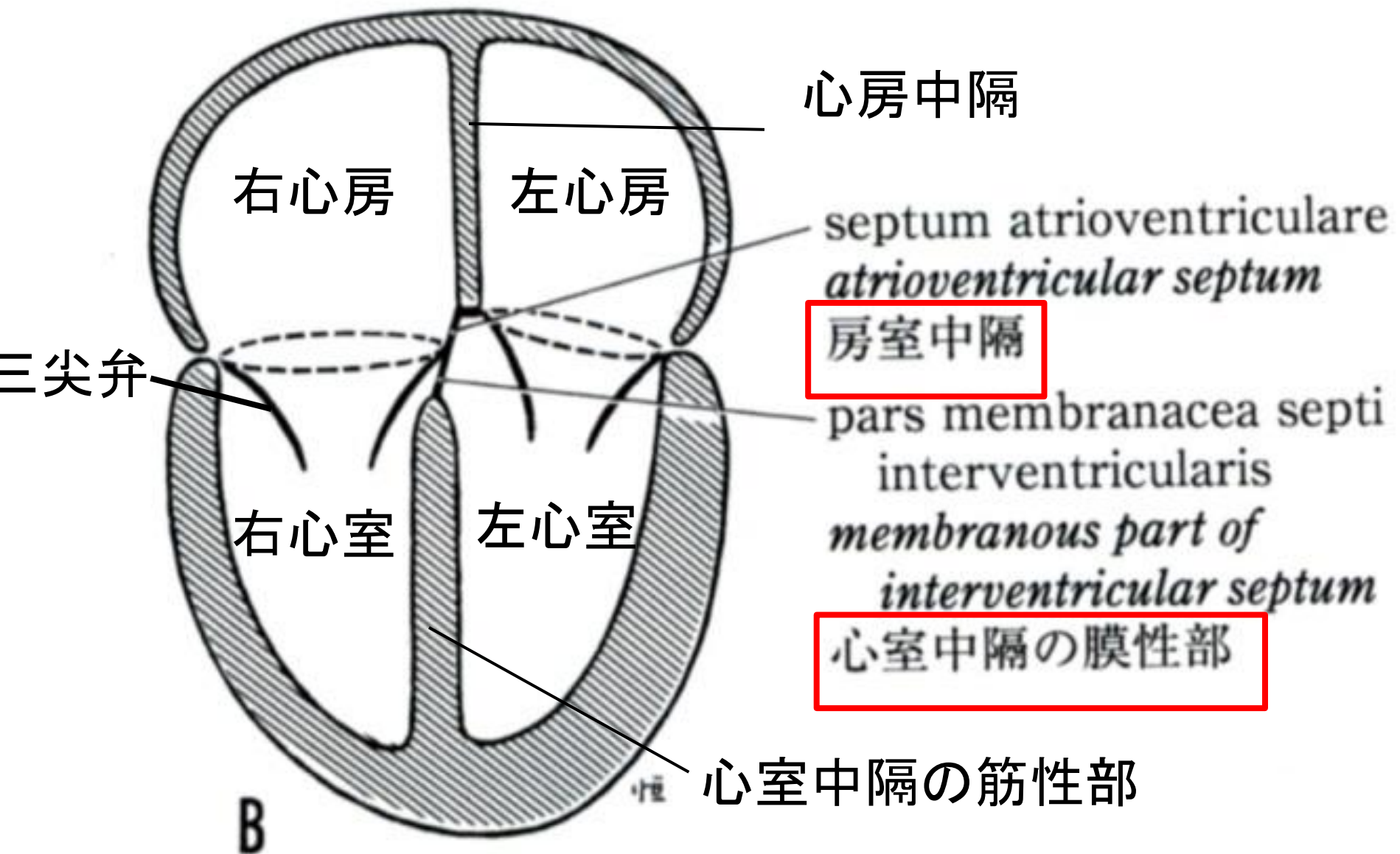
胎児の血液循環







心室の壁の厚さの違い



前回終わってない班は前回の続きから

1、大血管を剖出し、心臓をとりだす

2、縦隔の観察

- ・心膜、肺動脈、肺静脈をとる。後胸壁の壁側胸膜を剥がす。
- ・血管(腕頭静脈、大動脈弓からの分岐など)、反回神経を剖出する
- ・気管分岐部、食道の観察
- ・交感神経幹(星状神経節)、胸管、奇静脈(上大静脈へのつながりを出す)、迷走神経(食道の前後面へ)の剖出

3、心臓の解剖と観察

・2と3は同時作業でも可

- ・脂肪をとり、血管を剖出し、観察する(全班)



教員のチェックを受ける

奇数班は心房と心室を分離する方法で
偶数班は心臓を切開する方法で行う



内部観察を行う

全て終わったら教員のチェックを受ける